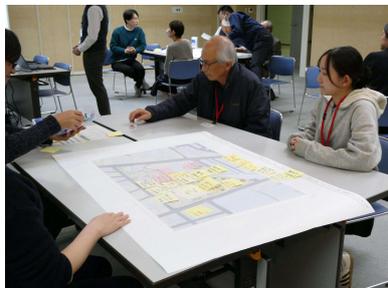


“みんなで作る”義農公園再整備ニュースレター vol.2

1. 第2回ワークショップを開催！テーマ→現在：課題整理（プロポーザル案と事例紹介）＋義農公園でやりたいこと②【その計画 いいね！／どうなん？】

第2回ワークショップでは、まずアンケート（小学生・中学生・高校生・一般）の結果を共有し、現在の義農公園が抱える課題を整理しました。続いて、設計者であるジオグラフィック・デザイン・ラボの前田さんから、義農公園のプロポーザル案と公園づくりの事例紹介があり、計画を考えるうえでの視点やアイデアを学びました。後半は提示された計画案について、第1回の結果でまとめた5つのジャンルに分かれて「その計画、いいね！／どうなん？」の2つの視点で意見交換を実施。実現したいことをテーマ別に深めながら、今後の計画に反映すべきポイントを整理できた回となりました。



2. 開催概要

日時：令和7年11月28日（金）18:30～21:00（時間オーバー申し訳ありませんでした） 会場：松前町役場2階会議室

参加者：13名（子育て・現役世代／大学生／地元区長／シニアほか）

アドバイザー：12名（町職員・地元関係団体・設計者ほか）※伊予高生はテスト期間中で不参加

3. ワーク①②新しい義農公園でやってみたいこと&その計画、いいね！／どうなん？（まとめ）

① 遊び（遊具）・チャレンジ Play & Challenge

義農公園らしい“ごちゃまぜの楽しさ”を受け継ぎつつ、幼児から高学年までが安全に挑戦できる多様な遊び場づくり

タコのすべり台（トンネル）・ブランコ・土管×木登り・ジップライン（ターザンロープ）・自転車・スケボー／幼児と高学年のゾーニング、見守り、ボールの飛び込み対策／水遊び・焚火・キャンプ・回遊性・ツリーハウス

② 健康・スポーツ Wellness & Sports

歩く・走る・体を動かす・考えごとをするなど、日常の延長で“健康を意識した過ごし方”が大切にされている（アーバンスポーツは整理要）

散歩・ランニング・ヨガ・健康器具・将棋など日常の健康習慣／様々なスポーツの練習や教室から大会などのイベント・芝生や広場を活用したスポーツの場／水辺体験・サウナ的リラックス・食堂や産直・いも炊きなど食の健康

③ くつろぎ・居場所 Relax & Place

季節や世代を問わず、ひとりでも仲間とでも心地よく過ごせる“居場所の選べる公園”自然・水辺・木陰を生かしながら、滞在環境を整える

木陰・風よけ・既存樹木活用・ライトアップと防犯／ベンチ・芝生・水辺・ピオトープ・高所眺望・一人の居場所／ピクニック・デイキャンプ・飲食一体・ステージ視認性・カップル席・親しみやすい管理人

④ 交流・にぎわい（防災） Community & Activity (disaster prevention)

日常の交流や飲食を楽しみながら、災害時には地域を支える拠点にもなる“にぎわいと備えが共存する場づくり”

カフェ・軽食・町内飲食店の参加、子どもを遊ばせながら過ごせる場／月1イベント、伊予高生イベント、マルシェ、ステージ、花見・イルミネーション、チャレンジエリアの駐車場兼用／かまどベンチ、備蓄、USB給電、冷暖房の聞いた室内、避難に使える大屋根、浸水高さ表示

⑤ 歴史・文化・自然 History, Culture & Nature

義農神社を中心とした地域の歴史や精神を大切にしつつ、自然や文化・表現の活動が育まれる“この地域らしい落ち着きと学びの場”

義農神社と義農精神の学び・継承／水辺・森・松・季節・農園など自然と触れ合う体験／吹奏楽・伊予漫才・アート・おたた文化などの表現と学びの場

4. 事務局コメント

第2回では、実際の平面図を見ながら「この場所で何ができるか」を考えることで、参加者の皆さんの発想が現実の空間につながり、議論はより立体的なものになりました。グループワークでは、タコのすべり台やはんぎり競漕に見られる“松前（義農）らしさ”を現代的に取り入れる提案も多く、未来の象徴となり得る視点が生まれた回でした。また、義農神社との連携や水辺空間の魅力を活かしたアイデアなど、周辺環境と一体で考える視点が多く挙がりました。一方で、神社敷地内の再編や水辺の本格的な整備は、公園整備と同時に実施するには課題が多くあるため、今後の管理・運営も含め、長い目で周辺一帯を育てていく“エリアとしての成長”が重要だと考えます。

次回（第3回）は、これまで出た「やりたいこと」を実現するために、誰が公園で活躍し、どのように管理・運営していくのかを一緒に考えます。皆さんとともに“みんなで作る”公園の姿を描いていきたいと思っております！